

季刊 ジャネット Ja-Net

No.15

2000年10月25日発行

View from the Other Side	3
あちこち日本語ご紹介[滋賀県長浜市].....	4
あちこち日本語ご紹介[ベルー].....	5
教材紹介『新日本語の中級』.....	6
『みんなの日本語初級 教え方の手引き』.....	7
なんでも情報BOX	8

Ja-NetはJapanese Networkの略です。「にほんご」を通して編集室と読者の皆様を結ぶ情報誌にしたいと考えています。

スリーイーネットワーク

巻頭インタビュー

世界的なベストセラー 『ハリー・ポッター』シリーズの翻訳者

松岡佑子さん



面白いだけでいいと思うのですが...

『ハリー・ポッターと賢者の石』は大変な評判ですね。

夏休みになってさらに勢いがつき、70万部に近づいています。英語版は3巻まで出ていますが、全世界3千6百万部という大ベストセラーになっています(注: 本稿の取材は8月)。マスコミで報じられているように第4巻は初刷り530万部という記録的な数字でした。

読者はやはり子どもが一番多いですか。

そうでもありません。10代、20代、30代、40代とほぼ同じです。

世代、国境を越えてこの反響は一体何なのでしょう。

どなたも面白いとおっしゃってくださいます。ものを見て美しい、きれい、あるいは音楽を聴いていいなあというのと同じように、読んで面白ければそれでいいと思います。分析しても無意味だと思うのですが、同じ質問をよく聞かれるものですから私なりに無理やり分析しているんです。

まず、第1に筋立てがしっかりしているということです。英国児童文学の伝統を踏まえ、著者は5年の年月をかけて構想を練った。ですから、第1巻で終わりというのではなく、既に最終の第7巻まで構想は出来ています。このしっかりした筋立てが、世代国境を越えて一気に読ませる魅力になっているのでしょう。それから登場人物を好きにさせる描き方、それぞれの

物のキャラクターが実に楽しい。第3に尽きることのない小道具。これは後に続く2、3、4巻でも新しい小道具が次々出てきます。それらは奇想天外でありながら現実にもありそうなものばかりで、読者を間違いなく楽しくさせます。第4に正当な道徳というか、読む者を「人間はいいものだ」と思わせるものが押し付けでなくしみじみと伝わってくる。

最後に、イギリス的な上品なユーモアを上げておきます。ちょっとしたやりとりや会話にそれがあります。くすっと笑ってしまうような会話や言葉遊びが頻繁で、訳者には大変な苦勞でした。

出版権を獲得できたのは情熱

今日はサクセスストーリーの取材が目的ではありませんが、異文化間コミュニケーションの視点から、英国の著者から出版権を獲得したその説得力というか、説得力に関心を持っています。ビジネス社会で日本人を相手にするのとイギリス人を相手にするのとではどう違いますか。

相手が日本人でもイギリス人でも大きな違いはないと思います。技術的にはこちらの考えを伝える英語力というのがまずありますね。それに私自身過去30年間、国際的なコミュニケーションの場で仕事をしてきたということはあります。いろんな交渉の場にも立ち会ってきましたから、その過程で自分の血となり肉となっていたものが交渉に役立ったことはあるのかもしれませんが、しかし、ビジネス上の駆け引きとか戦術とかは全くありませんでした。そのかわり「私には編集の経験はない、翻訳も文芸は初めて、小さな出版社に過ぎない」などの真実はありのままお伝えした。ただ、作品に心から惚れ込んだこと、この素晴らしい作品を私が何とか日本に伝えたい、その自信はあると必死の気持ちを何回も訴えました。既に日本の大手の出版社

孤児おじさんの家で冷遇されていた少年ハリー・ポッター。11歳の誕生日を迎えようとしたとき、ホグワーツ魔法学校からの入学許可証が届き、自分が魔法使いだと知る...。松岡さんが邦訳を手がけた第1作『ハリー・ポッターと賢者の石』と第2作『ハリー・ポッターと秘密の部屋』(静山社刊)。



が交渉していたことは知っていましたが、競争意識はなくその会社がどこかは関心もありませんでした。2カ月にわたるやり取りの後、代理人から「著者と話して合ってあなたに決めました。これから長く繁栄する関係を築きましょう」というE-mailが来ました。

松岡さんの気持ちが著者に伝わった？

後日、著者から聞いたところでは「こんなに情熱のある出版人はない」と代理人に言われて決めたということでした。得意の英語力で勝ったというのではなく「情熱勝ち」ということでしょうか。

素人だという謙虚な気持ちで猛勉強

その後もいろいろご苦労されたでしょう。

この話を聞いた私の友人から「こういう作品を訳すということは自分が作家になることと同じだ。すごいね。一大決心だね」と言われました。言われるまでもないことですが、私は素人だという謙虚な気持ちで取り組みました。もともと私は猛烈な勉強家ですが、今回もいろいろな勉強をしました。児童書だけでなく、大人の文芸書など名訳といわれる作品を随分読みました。作品の良さを伝え表現するための言葉探しもしました。

今回の翻訳で苦労された点は、たとえばどういうところですか。

読んでいて場面のイメージが浮かび、作品の面白さが十分に伝わるようにするため訳語には苦心しました。登場人物の中で最も魅力的な森の番人「ハグリット」のスコットランド“なまり”を日本語でどう伝えるか、など遅々として練りながら進む大変な翻訳でした。完成後、翻訳がりをほめられ、イチ押し翻訳書ベスト3（『翻訳の世界4月号』パベル・プレス刊）に選ばれたときは本当に嬉しかったですね。

著作権もさることながら、注目のこの作品を訳したいと思ったプロの翻訳者も多かったでしょうね。

そうですね。誰が翻訳するのだろうと関心は強かったようです。私に決まってから一緒にやりたいと言ってきた方もいました。でも当時は他人様をお願いするような資金もないし、何よりも私が自分で訳したいと情熱をもって始めたことですから何が何でもやり遂げるのだと思っていました。

ところで機械翻訳のソフトがありますね。英語の出来ない私などその将来に期待しているのですが、たとえばまず機械に翻訳させてそれをプロの翻訳者がチェックして仕上げる、それができれば随分楽になりますね。

科学の文章はできますが文学は無理でしょう。人間の感情や情操を機械がどこまで理解できるかですが、少なくとも私の生きているうちは出来ない。論理は機械の得意とするところですから翻訳も可能でしょうが、文学はできるとしても遠い将来でしょう。

英語を第2公用語にという意見がありますが…。

現実の問題として英語は国際的な場では重要になってきています。できるだけ多くの日本人が英語で話せるようになること

は賛成です。公用語という場合、制度の問題になりますが、それは必要ないと思います。

コミュニケーションは自分を磨くことが基本

国際的なコミュニケーションの場で長い間活躍されてきた人間として、『Ja-Net』の読者へのメッセージを下さい。

言語は「どうやって伝えるか」というコミュニケーションの手段であり、これをテクニックとして磨くことは大切です。しかし何を伝えるかという内容はさらに大切です。伝える内容とは結局人間自身だと思います。自身を磨くことが非常に大切だと言えます。テクニック的なものあるいは知識は本を読んだり訓練したりして身につけることが出来ますが、人間を磨くということは大変なことです。しかし、これからの国際時代、異文化間のすぐれたコミュニケーションにとってはこれが大切なことだと思います。

松岡さんは『ハリー・ポッター』シリーズを21世紀の古典的な児童書にしたいと夢を語っておられます。最後の評価は歴史が下すことになりますが、ご成功を祈っています。

まだまだ山あり谷ありで大変ですけれども、このような課題を与えられたことは幸せだと思っています。

ご参考までに10月31日は「ハリー・ポッター友の会学校」でハロウィンを計画しています。友の会は“ハリー・ポッター・ファン”の有志が集まって出来たものですが、既に会員3,000人の組織になりました。会費は無料、ビジネスにはいっさい関係ありません。関心のある方はホームページもありますのでどうぞ。

<http://www.harrypotterfan.net/hogwarts.html>



松岡佑子(まつおか・ゆうこ)

会議通訳・翻訳業。国際基督教大学(ICU)卒、米国モンテレー国際大学大学院国際政治学修士。ICU卒業後、(財)海外技術者研修協会に就職し、通訳として歩み出す。1972年に独立し、多くの国際会議で同時通訳を務める。98年、肺がんで死去した夫の跡を継ぎ静山社の社長となり、語学力を生かした国際的な出版物を送り出している。

VIEW FROM THE OTHER SIDE

コミュニケーションとは自分を知ってもらうこと

エメニケ C. エジオグ



子ども達が日本語学習の先生でした

日本に留学するチャンスに恵まれ、名古屋大学で初めて日本語を勉強したのですが、それまでは「ひらがな」さえも知りませんでした。日本については、図書館にあった日本紹介の本を数冊読んだ程度でした。でも、日本で生活を始めて言葉も文化の違いも全く気になりませんでした。それは、おそらく小学生の時に経験したことが大きな財産になっているからだと思います。

ナイジェリアの公用語は英語ですが、ハウサ、ヨルバ、イボ語なども広く使用されていて、多くのナイジェリア人が複数の言葉を使い分けています。私もいくつかの言葉を話せますが、小学校での授業は英語でした。他にその地方の言語を学ぶ授業もありますし、仲間と話す時はそれぞれの民族の言葉が飛び交います。そんな環境で育ちましたので、日本語の勉強も苦になりませんでした。ただ、書くことは苦手で今でも漢字は難しいですね。

小学校での経験をお話ししましたが、この「子どもの目線」ということは大切だと思います。信州大学に通っている時、地元の国際交流協会のイベントで小学校を訪問して講演をする機会が度々ありました。講演の後、子ども達と交流するのですが、これがとても楽しみでした。自分の日本語のレベルは小学生くらいだと分かっていましたので、大人としてふるまいませんでした。そうすると子どもも親しみをもちて接してくれます。こうして私は日本語の会話力を身につけていきました。

生徒に意欲を持たせる語学教育

現在は科学技術英語を教えているので、よく日本の英語教育についての意見を聞かれます。私は第2外国語として中学校でフランス語を学びました。日本ではALT(外国語指導助手)として外国人の先生を招きますが、ナイジェリアではナイジェリア人の先生を留学させます。フランス語の教員になるためには、1年間の留学が義務付けられているのです。予算の関係で全員がフランスには行けませんが、その場合は、ベナン共和国など近隣のフランス語文化圏の国で勉強します。

外国人の先生が上手な英語を話している日本の教室と、生徒と同じナイジェリア人の先生がフランス語を話している教室を想像してみてください。日本の場合は、やっぱりネイティブスピーカーの先生の英語は違うなあ、と思うでしょう。でもナイジェリアの生徒は、自分にもできるかも、と考えてもっと勉強



Nde ewo nu

しようという気になります。

また、留学すると言葉だけではなく、生活習慣も勉強できずから、こうした知識も語学教育に生かせると思います。

柔軟性も大切です

それから語学教育で会話をどうやって教えればいいのか、ということですが、私は、会話は「教える」ものでも「教わる」ものでもないと思うのです。自分の考えやアイデアを伝えるのが「会話」です。何を伝えるかは自分で決めることですから、それを他人に「教わる」必要はないわけです。まず、自分自身を知ることが大切で、言葉はコミュニケーションの道具に過ぎません。

大学院生に英語でプレゼンテーションをする指導もしていますが、正確な発音とか文法にこだわる必要はないと思います。国際研究会などで英語で発表するとき、BBCのアナウンサーみたいな英語で発表してください、とは言いませんよね。同じ英語でも国によって少しずつ違います。ですから少しくらい違っていても構わないし、また、聞きにくい英語を聞き取る訓練も必要です。

正確に話さなくてもコミュニケーションが取れる柔軟性も必要だし、それが言葉の面白さでもあると思います。

(インタビューを編集室にて構成)

Emeneke C. Ejiogu

ナイジェリア生まれ。国立ナイジェリア大学で修士課程を修了後、1990年文部省国費留学生として来日、信州大学で工学博士号を取得。現在、立命館大学理工学部で講師として科学技術英語を教え、パワーエレクトロニクスを研究している。

あちこち日本語ご紹介

国内編



滋賀県
長浜市

琵琶湖のほとり～長浜ユネスコ協会から

長浜ユネスコ協会日本語教室

北川逸子

集いの場所として

長浜市は琵琶湖のほとりの古い街並みが残る、ゆったりとした雰囲気のある地方都市です。長浜ユネスコ協会日本語教室は、阪神大震災の一年後の1996年、外国人市民に対する情報提供と市民の交流を目的として設立されました。その当時は、外国人市民は1,200人程度でしたが、昨年からは急増し始め、2000年8月現在、2,300人を超えています。豊橋などの多くの外国人を抱える都市と比べるとまだ数は少ないものの、総人口が6万人のこじんまりした市としては異例の増え方で、滋賀県でも外国人比率が一番高い地域となっています。ことに、ブラジル人は1,500人以上のほります。

これらの外国人市民が集う場所が、長浜ユネスコ協会日本語教室です。市から国際文化交流ハウスの利用提供を受け、比較的恵まれた環境で活動しています。南米からの日系人が大半ですが、日本人の配偶者の中国人、英語圏からの外国語指導助手などもいます。日本語指導に当たっているのは、21歳から60歳代の18人のボランティアです。若い指導者が多く、知識も経験も足りないけれど、少しでも役に立ちたいという熱意で、週2回

夜の授業を続けてきました。クラスは五つあり、ひらがな+初級1、初級2、初級3、中級という名称をつけ、各レベルがそれぞれ3カ月で終わるカリキュラムを組んでいます。使用教科書は『みんなの日本語初級』、『会話のほんご』その他です。ゲームやロールプレイなどを多くし、楽しい授業を目指しています。授業前後にはロビーにさまざまな外国語が飛び交い、人の輪が広がっていきます。

指導ボランティアの育成

指導ボランティアの育成には、現在のところ三つのコースが用意されています。一つは長浜ユネスコ協会での勉強会で、指導者たちが実践的な知識と技術を研鑽しています。また、月に一回、講師会議を持ち、共通理解の上で授業が展開できるように心がけています。次に、ボランティア希望者に対しては、教室とは別に長浜市の市民講座で「日本語教授法入門」コースを99年から開設しています。三つ目は県レベルの日本語ボランティアのネットワーク「びわこ日本語指導者ネットワーク」が各種の研修会を開催しています。

これらのコースを受講した人の中には、長浜ユネスコで教え始めた人や、中学校で日本語補習クラスのボランティアをしている人が育ってきています。徐々に裾野は広がってきているものの、仕事や家庭の事情でやめざるを得ない指導者もいて、慢性的な人材不足は当然続きそうです。

外国人急増地帯の教室のなやみ

毎回30人から50人の学習者が教室に来ますが、運営上は多くの悩みを抱えています。日系人労働者が学習者の大半であるため、勤務形態によってコンスタントに來れない人が多く、やめていく人も多い、毎回新しい受講者が来る、進度が揃わない、復習に時間がかかる、入会はあるが卒業がないために中級受講者の能力差が大きい、などの問題です。長浜市はおろか、琵琶湖北部地区も含めて、当教室が唯一の日本語学習の場であるため、敷居を低くして随時学習が開始できるようにしてきたのが、ここにきて授業の密度が犠牲になりつつあり、体制見直しの時期にきています。また、どこのボランティア日本語教室につきものの財政難や、1、2月の積雪期には休講せざるを得ないなど、課題は数限りがありません。

長浜ユネスコ協会日本語教室が目指すもの

それでも、年間延べ1,300人（99年度実績）に上る学習者のニーズにこたえていくために、よりよい授業ができるよう改善を積んでいかねばなりません。単に日本語学習の場だけではなく、交流を通して日本人と外国人が相互理解を深めるためにも、地域社会における存在の意義があるのは事実です。「継続は力なり」と言います。小さな教室でも努力を続けていくことによって「長浜へ行ったら、長浜ユネスコ協会日本語教室っていうのがあるから、そこへ行けば日本語が勉強できる」と外国人に信頼してもらえる存在になれる日が来る信じて、日本人にも外国人にも住みよい街にしていく発信基地の役割を果たしていきたいと考えています。



長浜からコンバンハ！（長浜ユネスコ協会のメンバー）

あちこち日本語ご紹介

海外編



ペルー
クスコ

アンデスの観光の街、クスコの日本語教室から

米谷恵子

インカの遺跡と共に

私は昨年8月から今年9月まで、南米ペルーのクスコで日本語を教えてきました。クスコはインカ帝国の貴重な遺跡群を抱える世界的な観光都市です。大半の人々が西語に加えてインカの公用語、ケチュア語を話すバイリンガルで、他に大した産業もないこの町では、住民の誰もが観光の需要と無縁ではありません。また、日本への出稼ぎの背景もあって、片言の日本語で街のあちこちから話しかけてくる人も多く、アンデスの先住民とどこか似通った日本人が形成する文化社会、経済力への関心は計り知れません。

ペルーには招かれて来たものの、最初の半年は私を招いた日系人協会クスコ支部との摩擦の連続でした。協会の経済的限界を何とか打開しようという私の提案は却下。結局、支部の契約不履行、給料の遅配に見切りをつけて退職、独立した後、信頼していた生徒達の一部の授業料未払いに翻弄されることになりました。教材はもちろん持ち出し、授業料を払えない生徒のために私の家で出来る仕事を与えたりと、先進国の日本語教室では考えられない様々な苦勞を体験することになりました。



日本文化フェスティバルにて(前列左から2番目が筆者)

笑いに溢れるクラスで

昨年8月から12月までの協会支部のクラスは、午後と夜それぞれ40人程でスタート。教材は『はじめのいっぽ』の西語版を使用。ゼロ初心者も日本語学習経験者も、カナから簡単な会話まで随分エネルギーに学習出来ました。2カ月目以降はペルー人気質に合わせ、新しい事柄を一日一つにして集中するクラスから、笑いがほとばしる事もしばしば。そうして4カ月目のコースを、午後、夜とも15人程の生徒で終了しました。

協会から独立した1月末からは、何とか日本語教室を続けてほしいという生徒達の願いに応える形で自宅の一室を午後と夜に開放することにしました。また、正式にピザを取得した4月からは日本語教室を広く宣伝、『みんなの日本語初級』を使った従来の生徒達との「集中コース」に加え、「入門コース」とガイドを養成する「観光コース」も始める事となりました。

しかし、午後「入門コース」は間もなく生徒の激減で頓挫。夜のコースは4カ月間の最後まで8人が継続しました。海外の日本語教室で非常に応用範囲の広い『はじめのいっぽ』をメインテキストにすることに無理を感じて、このコースの教材を他の短期用テキストに変更しました。

忙しい現役ガイドもいた「観光コース」はレベルのばらつきに苦勞しましたが、初級の後半から中級までを視野に、日本人旅行者との自然な会話や遺跡の案内のための語彙を学習、1カ月目をインカの石壁前の実地試験で好評のうちに終えました。しかし現在は忙しい上に財布の紐が固い皆の足並みが揃わず再開できずにいます。



「観光コース」の実地試験、インカの石壁前にて

『クスコ日本語基金』を！

実は、この9月5日でクスコの教室にひとまず区切りをつけました。持ち出しにつく持ち出しで、ボランティア同然の日本語教室を続けていく経済的限界は南半球での日本語教育を考える時、けっして避けて通れない課題だと思います。そういった様々な限界を越えるべく、この10月『クスコ日本語基金』を呼びかけようと、私は日本へ一時帰国をします。とことん本気の生徒達は、何と日本語学習を続けて私のクラスの再開を待とうと小さなグループを作ってしまったのです。これからは、日本でクスコの活動を紹介し、その意味を伝え、早くも半年、遅くとも一年後に予定しているクスコの日本語教室のより確実な再開めざして、日本で動きに動くつもりです。観光バスの窓越しに眺めるペルーでなく、もっと人と人がふれあえるようなツアーを提案し、そんな企画とともに、じっくり確かに歩みを重ねることができる日本語教室を考えたいと、案を暖めているところです。

「クスコ日本語基金」お問い合わせ先
〒915-1244 福井県武生市牧町16-7
米谷恵子 Tel:0778-28-1204
E-mail:berotei@qa3.so-net.ne.jp
「クスコ日本語基金」のためのニュースレター、ペルーの絵葉書もあります。

教材紹介

『新日本語の中級』
『みんなの日本語初級 教え方の手引き』



『新日本語の中級』 実社会で役立つ会話能力を育成するテキスト

(財)海外技術者研修協会 AOTS日本語教育センター

1. 作成経緯

最近のIT革命を待つまでもなく、ビジネスやテクノロジーの世界における日本語教育/学習ニーズはここ数年急激に高まっています。また、AOTSの研修生の中にも初級を越える人たちが毎年一定の割合を占めるようになってきました。そのため『新日本語の基礎・』の学習終了後、本格的な中級に入るための初級から中級への橋渡しとなるテキストとして本書を作成しました。

2. 作成意図

『新日本語の基礎・』には、語彙数約1,480、文型数139項目があります。語彙に関しては、日本語能力試験の3級(1,500語)程度に相当します。初級において文法や文型は日本語能力の土台となる重要な要素ですが、同時に学習したものが実際のコミュニケーション現場で使えるためには、下記の三つの要素が『新日本語の基礎・』学習以降に必要です。は、そのために本書で採用した方針です。

1) 機能面の強化 機能シラバスの採用へ

(一部話題シラバスもありますが)

2) 文型の組み合わせ及び縮約形の知識と練習 文型の選択へ

3) 語彙の拡充 運用語彙と理解語彙の設定へ

以上の3点をおさえつつ、『新日本語の基礎・』の内容を踏まえ、更に会話能力を伸ばすことを主眼に本書を作成しました。語彙数は約1,200、学習項目は129です。

3. このテキストの対象者

日本語非母語話者の成人社会人が仕事上または日常生活で必要となるであろうコミュニケーションの目的(機能)や場面、話題の中から、優先順位の高いものを20課分選んで、難易度を勘案し、配列しました。特に『新日本語の基礎・』からの移行が滑らかにできるよう、前半の課では、初級文型の復習も兼ねて使えるように配慮しました。

4. 全体構成

本冊は、『新日本語の基礎・』(全50課)に続く20課分の「本課」を中心に構成され、巻末に「関連表現のまとめ」と「索引」が付いています。

シラバスは基本的に「機能」を採用しましたが、本格的な中級レベルへの移行も考え、後半は「話題」とそれに伴う語彙の拡大を図りました。各課は、学習目標 学習する前に 学習項目 会話 読もう 練習 活動 聞こう、の八つのパートから構成されています。

分冊はPART とPART に分かれています。PART には、新出語彙とその英語訳があり、必要に応じて注と用例を付けました。語彙は『新日本語の基礎・』で提出されていないものを収録しました。PART は、本課内容の英語訳です。

ルビに関しては、海外や自習等で必ずしも漢字学習が共通に行われていない実態を踏まえ、あえて総ルビとしました。

5. 使用上のヒント

中級は文法も語彙も、初級以上に、いつ/どこで/だれと話す時に使うのか、どんな気持ちの時に使えるのか、かなり制限されています。従って、文脈(状況)を明確に設定することがまず必要です。また、各課のタスクは、初級学習者でも既習の語彙、表現、文型を使って何とか遂行できるものですが、本書を使って学ぶことで、より豊かで自然なコミュニケーション能力を身につけることができます。ですから学習前にまず事前タスクをやってみて、運用能力や知識を確認した後、必要があれば復習等をし、当日のレッスンに臨んでください。そして学習の最後に、同一の機能のタスクを再度してみることで、学習者自身が会話能力の変化を実感できることが大切だと思います。

目次

第1課 尋ねる・確かめる	第11課 人とつきあう
第2課 電話で連絡する	第12課 比較する
第3課 頼む	第13課 苦情を言う・謝る
第4課 許可をもらう	第14課 褒める・けんそんする
第5課 誘う・断る	第15課 仕事について話す
第6課 訪問する・紹介する	第16課 例える
第7課 症状を伝える	第17課 相談する・提案する
第8課 買い物する	第18課 計画を立てる
第9課 道を尋ねる	第19課 意見を述べる
第10課 手順を説明する	第20課 環境を考える

新日本語の中級 本冊

B 5 判 310頁 + 別冊64頁 2,700円

新日本語の中級 分冊英語訳

B 5 判 198頁 1,700円

新日本語の中級 C D

3枚 4,100円

(財)海外技術者研修協会編



**みんなの日本語初級
教え方の手引き**

B 5 判 260頁 2,800円
スリーエーネットワーク編



『みんなの日本語初級 教え方の手引き』 教え方の基礎技術と授業の流れ

スリーエーネットワーク 編集室

『みんなの日本語』が発刊されてから2年半経ち、国内外の大学、日本語学校などの日本語教育機関、地域の日本語ボランティアなどで幅広く受け入れられてきました。そして多くの方々からこのテキストの「指導書」のご要望をお寄せ頂きました。教える人の為の手引き書として、特に、経験の浅い教師の方がより効果的な指導ができるように配慮して『教え方の手引き』を制作しました。

本書は三部構成になっています。

第一部：『みんなの日本語初級』教科書の使い方

テキスト・教材について、以下の通り解説しています。

「編集方針」= 『みんなの日本語初級』の対象と目標、期間と進度、教材の構成、採用している文型や文法項目、語彙についての考えなどが説明されています。

「主要教材の構成と内容」= 『本冊』と『翻訳文法解説』についての解説と効果的な利用法を説明しています。

「指導における留意点」= 文字や語彙の導入・練習の方法から、各課の文型・例文・練習・会話・問題・復習の方法を説明しています。また、テキストを使う際の基本となるドリルのやり方について詳しく解説しています。

第二部：『みんなの日本語初級』各課の教え方

ここが本書の中心です。参考に第6課の一部を右側に掲載します。

「言語行動目標」= その課での到達目標を示しています。その課で学んだ文型、語彙を使って何ができるようになるかを教師も学習者も意識しておくことが重要です。

「提出項目」= その課で扱われる文法項目と、それが文型・例文・練習A・練習B・練習Cのどの部分に提出されているのかを整理してあります。続いて、各提出項目の解説とその導入・練習方法が、具体例を用いて説明されています。また、その項目で使用できる携帯用絵教材の絵も載せました。

「会話」= 場面、目標、練習の手順が示されています。

第三部：資料編

授業に役立つ資料を載せました。フォームの活用表など、ハンドアウトなどを作成する際に参考となるような資料および学習項目、提出語彙の一覧が付いています。

日本語の教室という学習の場から、現実の日本語会話の場での運用力が養成されることを目標に、且つ、練習の流れを大切に指導できるようにと考え、指導例の一つとして本書を作成しました。それぞれの学習者の背景などによって、教師は常に導入や練習方法など指導の工夫が求められるものです。状況や学習者に応じた指導法を模索して頂ければと思います。

第 6 課

1. 課の学習目標

授業の終わりに簡単な会話ができる。人の顔を見てわかることができる。

2. 提出項目

	文型	例文	練習A	練習B	練習C
1. こんにちは	1	2・3・4	1・2	1・2・3・4	
2. 誰かを見て	2	3	3	3	1・2
3. 知らない人を見たら	3	3	3	3	1・2
4. 挨拶しよう	4	3	3	3	3

3. わたしはジェスチャーを調べます

目標 (知識)

顔や表情は日本語を知らない外国人(自国語)、相手国では理解を促す言葉(自国語)の両方を知ることが出来ることと、顔や表情の意味を知る。顔の表情は「目」によって分かる。

場面 学校、店、公園

提出項目

1. こんにちは

例文

2. 誰かを見て

3. 知らない人を見たら

4. 挨拶しよう

5. わたしはジェスチャーを調べます

6. 顔や表情は日本語を知らない外国人(自国語)、相手国では理解を促す言葉(自国語)の両方を知ることが出来ることと、顔や表情の意味を知る。

7. 顔の表情は「目」によって分かる。

5. 会話

場面 学校から帰る道

目標 知らない人を見てわかる。

準備 友人から借った顔の絵(顔の表情)や教師などの顔の絵を用意することができる。

準備 顔の絵、CD、また、顔の絵

1. 顔の絵

2. 顔の絵

3. 顔の絵

4. 顔の絵

5. 顔の絵

6. 顔の絵

7. 顔の絵

8. 顔の絵

9. 顔の絵

10. 顔の絵

11. 顔の絵

12. 顔の絵

13. 顔の絵

14. 顔の絵

15. 顔の絵

16. 顔の絵

17. 顔の絵

18. 顔の絵

19. 顔の絵

20. 顔の絵

21. 顔の絵

22. 顔の絵

23. 顔の絵

24. 顔の絵

25. 顔の絵

26. 顔の絵

27. 顔の絵

28. 顔の絵

29. 顔の絵

30. 顔の絵

31. 顔の絵

32. 顔の絵

33. 顔の絵

34. 顔の絵

35. 顔の絵

36. 顔の絵

37. 顔の絵

38. 顔の絵

39. 顔の絵

40. 顔の絵

41. 顔の絵

42. 顔の絵

43. 顔の絵

44. 顔の絵

45. 顔の絵

46. 顔の絵

47. 顔の絵

48. 顔の絵

49. 顔の絵

50. 顔の絵

51. 顔の絵

52. 顔の絵

53. 顔の絵

54. 顔の絵

55. 顔の絵

56. 顔の絵

57. 顔の絵

58. 顔の絵

59. 顔の絵

60. 顔の絵

61. 顔の絵

62. 顔の絵

63. 顔の絵

64. 顔の絵

65. 顔の絵

66. 顔の絵

67. 顔の絵

68. 顔の絵

69. 顔の絵

70. 顔の絵

71. 顔の絵

72. 顔の絵

73. 顔の絵

74. 顔の絵

75. 顔の絵

76. 顔の絵

77. 顔の絵

78. 顔の絵

79. 顔の絵

80. 顔の絵

81. 顔の絵

82. 顔の絵

83. 顔の絵

84. 顔の絵

85. 顔の絵

86. 顔の絵

87. 顔の絵

88. 顔の絵

89. 顔の絵

90. 顔の絵

91. 顔の絵

92. 顔の絵

93. 顔の絵

94. 顔の絵

95. 顔の絵

96. 顔の絵

97. 顔の絵

98. 顔の絵

99. 顔の絵

100. 顔の絵



セミナー SEMINARS



初心者のための

『みんなの日本語初級』の教え方

『みんなの日本語』も発売以来さまざまな日本語教育の現場で使用されています。周辺教材も揃って来ました。小社では『みんなの日本語初級』の教え方講座を開講いたします。これから日本語を教えてみたい方、教え始めたばかりでどうしたらいいか考えている方、お気軽にご参加下さい。

日程：11月13日(月) 15日(水) 17日(金)
20日(月) 22日(水)

時間：昼クラス/14:00~16:00
夜クラス/18:30~20:30

講師：飯塚達雄(スリーエーネットワーク 日本語講師)

会場：小社教室(東京都千代田区神保町)

定員：10名 費用：15,000円

問合せ/申込み：スリーエーネットワーク講座係

TEL 03-3292-6410 E-mail: ja-net@3anet.co.jp

講座案内をご請求下さい。

『みんなの日本語』を使った
初級日本語の教え方

徳島、札幌の日本語教育機関のご協力を得てセミナーを開催することになりました。周辺教材を活用しながら、どのように効果的に教えたらいいか、参加者の皆様と一緒に考えたいと思います。

徳島

日時：11月11日(土) 13:00~16:00

講師：牧野昭子(教科書執筆協力者)

会場：(財)徳島県国際交流協会

主催：日本語クラブ・JTM研究会

後援：(財)徳島県国際交流協会

徳島大学日本語教育研究室

協力：スリーエーネットワーク

問合せ/申込み：(財)徳島県国際交流協会

TEL 088-656-3303

札幌

日時：11月18日(土) 14:00~16:00

講師：鶴尾能子(教科書執筆協力者)

会場：ボランティア研修センター

主催：北海道日本語教育ネットワーク

スリーエーネットワーク

問合せ/申込み：小林由子

TEL/FAX 011-706-2180

詳細は青色のチラシをご覧ください

ほん

BOOKS

本誌に表示した価格は税別です。

みんなの日本語初級

翻訳・文法解説ポルトガル語版	発売中	2,000円
翻訳・文法解説インドネシア語版	発売中	2,000円
翻訳・文法解説タイ語版	発売中	2,000円
本冊ローマ字版	発売中	2,500円
翻訳・文法解説ローマ字版(英語)	発売中	2,000円
教え方の手引き	発売中	2,800円
携帯用絵教材	11月1日発売	6,000円
初級で読めるトピック25	11月16日発売	1,400円

「初級の初めから読める読解教材が欲しい」という声に応じて制作しました。文法項目は「初級」に準拠。新出語彙は英・中・韓・タイ・インドネシアの5カ国語項目付き。初級から読解力をつけたい学習者に最適の教材です。

書いて覚える文型練習帳

11月中旬発売予定 1,300円

口頭練習の後に文を書かしてみると、助詞や文末表現の間違いに気付くことはありませんか？本書は文型と語彙を整理して、書くことによって定着を図る問題集です。試験や宿題としても使える文法チェックシート・まとめの問題付き。

みんなの日本語初級

翻訳・文法解説ポルトガル語版	発売中	2,000円
翻訳・文法解説タイ語版	11月中旬発売予定	2,000円

改訂版

話そう考えよう初級日本事情

福岡日本語センター「日本事情」プロジェクト著
11月9日発売 1,000円



日本語力はまだまだ。でも「日本を知りたい！」そんな学習者に最適。日本の社会や文化を主体的に考える力を育てるテキストです。初版発行から3年以上経過し、主に統計資料、出典などを大幅に改訂しました。

別売『改訂版 教師用』800円。

日英対訳 日本で暮らす外国人のための生活マニュアル

役立つ情報とトラブル解決法 2001/2002年版
カトリック横浜教区滞日外国人と連帯する会 編
12月8日発売 1,800円



日本で生活している外国人の方々の情報源として好評いただいている、『生活マニュアル』の改訂版が発行されます。外国人だけでなく、国際交流に関わっている日本人の方にもお薦めしたい一冊です。

お知らせ INFORMATION



皆様からの投稿や各コラムへのご質問、ご意見等をお待ちしております。採用させて頂いた方には粗品を進呈いたします。

本誌をご希望の方は、お名前、ご住所、所属をファックス等で編集室までお知らせください。無料でお届けします(国内のみとさせていただきます)。『Ja-Net』第16号は2001年1月25日発行です。

参加者募集

子どもに日本語や教科を教えている方、その実践を共有しませんか。実践シェアの会(仮称)は、実践を行っている人が、報告しあい、ディスカッションし、さらにフィードバックする会です。下記の日程で第一回目の報告会を行います。

日時：12月23日(土) 10:30~17:00

場所：国際基督教大学(東京都三鷹市)

費用：500円 定員：40名(11月末日締切)

問合せ/申込み：実践シェアの会 谷口理恵

E-mail: trie@ceres.dti.ne.jp

Ja-Net 季刊ジャネット No.15

スリーエーネットワークという社名は、アジア(Asia)、アフリカ(Africa)、ラテン・アメリカ(Latin America)のいわゆる発展途上国の多くが存在する3つの地域をネットワークでつなぎ、相互理解と友好の促進を図ろうという趣旨をシンボライズしています。

2000年10月25日発行

発行人 小川 巖

発行所 (株)スリーエーネットワーク

〒101-0064 東京都千代田区猿樂町2-6-3 松栄ビル

Ja-Net編集室 TEL 03-3292-6410 FAX 03-3292-6197

営業課 TEL 03-3292-5751 FAX 03-3292-5754

http://www.3anet.co.jp E-mail: ja-net@3anet.co.jp

日本印刷(株)

© 2000 by 3A Corporation Printed in Japan (禁無断転載)